



令和5年度

渋沢つうしん

秦野市立渋沢小学校

令和5年7月18日

第4号

TEL 88-7066

令和5年度が始まり約4か月が過ぎました。渋沢小学校では入学式、始業式、毎月の朝会などで、2つのことを大切にしてほしいと子どもたちに伝え続けています。一つが「いのちを大切に」、もう一つが「まわりの人を大切に」です。この二つのことに関連したお話をお伝えします。

《朝の登校指導ボランティアさん》

渋沢小学校には7月1日現在736名の児童が通っています。市内では2番目の大きさで、多くの児童が登校班長さん、副班長さんを中心として安全に気を付けて登校しています。1年生は4月のころに比べると、足取りがしっかりとってきて、上級生のみんなと同じくらいの速さで歩けるようになってきました。それでも多くの児童が登校するので、道が混雑することがあります。そこを整理してくださっているのが登校ボランティアさんです。交差点などの特に注意が必要な場所で、雨の日も、暑い日も毎日のように児童の安全を見守ってくださっています。また、毎朝自宅前で「おはよう、いってらっしゃい」と全員に声をかけてくださる方もいらっしゃいます。さらに、見守りに立ってくださるPTAの地区委員会さん、毎朝のように児童とともに歩き、横断歩道も安全に渡らせてくださる「登下校見守り隊」の方々など、本当に多くの方々に見守られて児童は安全に登校できています。



学校では6月22日に3年生が交通安全教室を行っています。「いのちを大切に」するには、大人から守られるだけでなく、子どもたち一人一人が自分事として学び、交通安全の意識をもつことも大切なことです。夏休み期間中も安全に過ごしてほしいと思います。

《いちろくフェスティバル》

6月27日（火）にいちろくフェスティバルがありました。いちろくフェスティバルとは「1年生が学校生活をもっと楽しめるように」と6年生が主体的に企画、運営する行事です。6年生は各クラスで実行委員をたて、1年生が楽しめるようにどうするかを話し合い、活動を進めました。1時間という活動時間で、どこで、何をするか、どのようにグループピングするかなど、6年生は自分たちで考え、計画的に行動していました。当日は音楽室、家庭科室、給食室前、体育館、校庭、ピオトープなどなど、学校中がイベントだらけ。それぞれの場所でクイズをしたり、ゲームをしたり、工作をしたりと学校探検をしながら思いっきり楽しんでいました。1年生は6年生に少し甘えながらも、しっかりとお話を聞いていました。また、「フェスティバル」とはとっても他の学年は授業中なので、廊下で「静かにね」と声を掛け合う1年生の姿も見られ、成長が感じられました。そして6年生は優しく、丁寧な口調で1年生に話しかけます。年下だからというだけではなく、どのようにお話をすればわかりやすく伝わるのかを考えているからです。このように6年生にとっても大きな学びの場となっていました。同じ渋沢小学校に通う子どもたちが関わり合い、ともに成長する中で、「まわりの人を大切に」する心情を育むことができたのではないかと思います。



《長い夏休み、ゆっくり読書はいかがでしょう》

夏休みを前にして、各児童に一冊、右の写真にあるような冊子が配られました。学年ごとにまとめられた「夏休みおすすめの本」です。普段から読み聞かせを行ってくださっている「おはなしマム」の方々が作成されたもので、子どもたちが保管しやすいハンドブックのような形式になっています。内容としては長い夏休みを利用して子どもたちに読んでほしい物語、絵本、実話、ファンタジー、昔話と様々な本が紹介されています。秦野市全体としても読書活動を推進しておりますので、ぜひこの機会に子どもたち一人一人のお気に入りの一冊を見つけてみてはいかがでしょうか。

